

リーダー研修会

7月28日、29日、峰町木坂地区の「御前浜園地」で、東部中学校、西部中学校の生徒を対象に青少年リーダー研修会が実施されました。

研修会には22名が参加し、野外炊事や対馬の歴史についての講話、ナイトハイキング、ナイトシアター（映画鑑賞）、キャンプ、野外レクなどが行われました。

参加した中学生たちは、集団生活をおとして、協力し合うことや、仲間の大切さなど、様々なことを自らが学び、良い夏の思い出となりました。



わくわくふるさと探検隊 活動開始

この事業は、子どもたちの体験型学習事業として、平成10年から実施されているもの

で、今年も美津島管内の小学校から30名が参加しています。

今年は、今回の漁業体験をはじめ、キャンプ活動や史跡探訪など8の事業が計画されています。

7月30日の開講式に集まったのは21名。事業説明の後、2班に分かれて定置網体験と真珠加工品づくりに取り組みました。班活動の後は、マダニ1000尾の放流を行いました。



ワークキャンプで中学生が福祉を体験!

8月17、18日の2日間、対馬市社会福祉協議会上県支所主催の「ワークキャンプ」が実施され、上県町内の3中学校から22名（男女各11名）の生徒が参加して、老人や障害

者らの介護を体験しました。

参加者は、上県町地域福祉センターに宿泊。1日目は、特別養護老人ホーム「日吉の里」（佐須奈）を、2日目には社会福祉法人「あゆみ園」（琴）を訪問し入所者らと交流。また、車イス体験やビデオを使つての福祉勉強会などを行いました。

日吉の里入所者への食事介護では、最初は恥ずかしがっていた生徒たちも、慣れてくると話しかけながらご飯を口元を持っていたり、ブドウの皮をむいてあげたりしていました。子供たちの思いやりのある介護にお年寄りの皆さんもうれしそうにいました。このワークキャンプを通して、参加者は介護すること、人の役に立つことの喜びを感じ取っていたようでした。



清掃ボランティア

久原中クリーン作戦

8月10日、久原中学校の生徒、教諭、保護者約40名が、上県町、峰町を結ぶ国道、県道の清掃ボランティア（クリーン作戦）を実施しました。

このクリーン作戦は、夏休み期間学級レクリエーションとして、心に残る体験や何かをやり遂げる達成感、そして対馬をきれいにしようという目的で実施されたもので、久原中学校を出発し、鹿見口、大久保、三根、津柳、女連を回り学校へ戻るコース（19km）と、その逆回りのコースの2組に分かれて行われました。午後1時から5時間の清掃で、ゴミ袋に60袋の空き缶やペットボトル、ゴミが集められました。猛暑の中、参加者は

最後までやり終えた達成感を味わうことが出来、夏休みのよい思い出になりました。



車いすのプレゼント

7月29日、中学生の福祉の勉強に役立ててもらおうと、つしま中央ライオンズクラブ（松井秀樹会長・会員23名）が、市内の中学校に車いす12台を贈りました。

これは、同クラブの10周年記念として贈られたもので、6月26日に米田教育長へ目録が渡されていました。



車いすを渡す中原前会長

夏を満喫

岐阜県蛭川村から
小学生42名が来島

7月25日、「ひとつばた」が縁で、平成7年から上対馬町との交流が続いている岐阜県蛭川村から、小学生42名が来島しました。

山に囲まれて海での遊びがあまり経験できない蛭川村の子供たちは、海水浴や砂遊び、カヌー体験に大喜びでした。

地元小学生との交流会では、地引網体験のあと三宇田浜キヤンプ場でバーベキューをかこみ、あつという間にうち分け、みんな笑顔で交流を深めていたようです。

また、韓国展望所や海栗島（航空自衛隊基地）見学など、対馬の夏を満喫しました。

蛭川村も来年2月1日に中津川市との合併を控えています。この交流事業がいつまでも続くことを期待し、また、冬の蛭川村での再会を誓い、子どもたちは対馬空港をあとにしました。



タフに育て、

子どもたち

（南陽小（上対馬）と
歌浦小（北松浦郡鹿町）と
の交流）

8月4日～7日、南陽小学校で鹿町の歌浦小学校を迎えてタフ指定校同士の交流が行われました。

この事業は本土部と離島部のタフ指定校が交流し、独自

の教育計画による授業や体験活動を体験させ、自覚や連帯感・社会性を育てることが目的で、困難にくじけない強さと、人を思いやる優しさをあわせ持ち、夢の実現のために粘り強く努力するタフな子どもを育てるための実践モデル事業です。

子どもたちは、グループ学習や茂木浜でのキャンプ、南陽小児童宅でのホームステイで交流を深め、南陽小児童が3月に放流したアワビの追跡調査など対馬の自然を再認識する学習など4日間を有意義に活動していました。

この夏の思い出と友達をたくさん作り、また少しタフに成長したようです。



自然観察



海での探検

日韓青少年

交流事業

8月20日から24日にかけて日韓両国の青少年の文化交流を目的とした「朝鮮通信使と日本国大使の友情作り」対馬からソウルまで」が韓国で行われ、対馬からは、対馬高校の国際文化交流コースの生徒10名が参加しました。

交流は、韓国の伝統遊びの体験やお寺の観光、生活体験を行いました。伝統遊び体験では、「馬乗り」を、お寺の観光と体験では、蓮の花の形をした灯籠作りをしました。今回の体験旅行を通じて、

生徒達は同じ志をもった仲間とのふれあいの大切さを実感していたようです。この交流を機に、さらに韓国文化に興味を持ったようでした。



オープン記念 パークゴルフ大会

美津島町雞知のグリーンピアつしま内に「対馬市パークゴルフ場」が完成し、8月2日、オープン記念のパークゴルフ大会が開催されました。

記念大会は、市老人クラブ連合会美津島支部（吉村正孝会長）が主催。21チームが出場し、暑い日差しの中で元気にプレーしました。

記念大会で優勝したのは箕形チーム、2位は黒瀬チーム、3位は今里チームでした。

パークゴルフ場の利用時間は午前9時から午後4時まで、毎週火曜日が休場日です。中学生以下300円、一般500円、70歳以上350円で利用できます。

【問合せ先】

パークゴルフ場管理棟
0920 54 5117



ハプニング スモークボールが記者直撃

ビーチバレーボール大会

8月8日、第10回ビーチバレーボール大会が美津島町海水浴場（太田浦）で開催されました。

この大会は対馬市青年団の主催で、市内より11チーム、約60人が参加し、真夏の強い日差しの下、熱戦が繰り広げられました。



校区球技大会

7月25日、美津島体育館で、第30回雞知中学校校区子ども会交歓球技大会が開催され、各地区から32チームが参加しました。

今年は新種目「アジャタボール（玉入れ）」が行なわれ、各チーム6人の選手が50個の玉をカゴに入れてしまうまでの早さを競いました。

会場は、子ども会同士の楽しい交流の場となり、選手も観客も玉が入らないもどかしさに熱くなっていました。



カーレース大会

8月8日、峰町ファミリアパークカーレース大会が同パーク横の三根湾で開催されました。

競技は、1チーム3名が、約250mのコースを1人1

周し、3人の合計タイムで競いました。

大会には、男性4チーム、女性6チームが出場し、中には思うように進まず、失格となるチームもあるなど盛況のうちを終りました。

男性の部 1位
西中ウオーターボーイズ
（中村裕一郎、島屋博実、小島修太郎）

記録 8分29秒

女性の部 1位
西中3人組（岩佐かおる、多田侑加、島居望）

記録 13分5秒



若い経営者の主張大会

8月20日、対馬市商工会峰支所会議室で、市商工会青年部主催の「若い経営者の主張大会」が開催されました。

各支部の代表6名が出場し

て、意見を発表しました。最優秀の1名が、9月9日に対馬市で開催される長崎県商工会青年部連合会主張大会へ代表として出場します。

最優秀賞を受賞したのは、厳原支部代表の島崎顕章さん。四国出身の島崎さんは、「青年部活動に参加して」をテーマに、アリラン祭の運営に関わりながら、対馬での生きがいを見たと発表し、優れた構成力、表現力、発表態度が評価されました。

現在、厳原印刷所に勤務し、5年後、10年後を見すえた経営を目指しています。

その他、優秀賞として美津島支部代表、波多野力也さん、優良賞を上県支部代表の高原靖さんが受賞しました。



発表する島崎さん

巡視艇の体験航海

8月7日、比田勝海上保安署が地元小学生と保護者を対象に「夏休み巡視艇体験航海」を実施しました。

参加者約50名は、乗船前に救命胴衣の着用を練習し、3班に分かれて巡視艇「あきくも」に乗船しました。

体験航海は、比田勝港から約9km北のの三ツ島付近まで行われ、参加者は、舵を握り操船したり、レーダーや双眼鏡を覗いたりして約1時間の航海を楽しみました。

舵を握った小学生は「船を真っ直ぐに走らせるのは難しかった。でも操船させてもらって夏休みの楽しい思い出ができた」と話していました。



上県町に新しいALT
マーク・パーシエクさん

8月に上県町のALT（外国語指導助手）として赴任してきたマークさんです。

アメリカコロラド州ボルダ出身の25歳。スポーツ好きで、サッカーやスキー、ハイキング、水泳などが得意。

昨年は、南米ブラジルとウругアイの教会や孤児院で現

地の子供達に英語を教えたそうです。「対馬で子供達に英語を教えることをとても楽しみにしています」と笑顔で話していました。

和太鼓競演

8月1日、上対馬総合センターで、対馬市誕生を祝い、海外公演やテレビなどで活躍中の和太鼓グループ「梨の木太鼓」と対馬を代表する「舟志愛鼓連」が競演しました。

梨の木太鼓は、梨の木（青年グループ）、八州（50歳代メンバー）、撫子（女性グループ）、若杉（小中学生）の4グループで構成され、横浜、川崎を中心に活動しています。メンバーの6割が対馬出身者で、ふるさと対馬市誕生を祝いたいとの思いから、今回のイベントが実現しました。



とうもろこし狩り

7月25日、美津島町の玉調地区にあるとうもろこし畑で収穫祭が実施されました。

この事業は、平成10年から美津島町担い手公社が始めたもので、今年のもろこしは天候にも恵まれ、甘く大粒の実を付けていました。試食コーナーに用意していたとうもろこしも、またたく間に無くなってしまいました。

収穫祭は、とうもろこしをはじめ収穫するちびっ子たちなど、約200名の家族連れで賑わい、一本100円のところもろこし約3000本が販売されました。



チャリティ募金活動

8月21、22日の2日間、市内のスーパーなどで、対馬市社会福祉協議会が『24時間テレビ 愛は地球を救う27』の街頭募金活動を実施しました。中学生のボランティアも参加して募金活動を行い、36万6653円の募金が集まりました。募金に協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

